



コアラ保育園 保育士
川端 麻祐子

子どものイヤイヤ期と向き合う

風薫る季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今回は産後の生活についてお話をします。

私は福田病院の職員のお子様をお預かりするコアラ保育園で1歳2歳児クラスの保育に主に携わせて頂いています。子ども達の沢山の笑顔に囲まれ、子ども達と一緒に様々なものを見て聞いて感じたり、少しずつ成長していく姿を保護者の方々と共有できることに、やりがいと楽しさを感じながら日々保育を行っています。

私が担当している1歳2歳児フロアでは、あれもイヤ!これもイヤ!と嫌がったり、泣いたりするいわゆる「イヤイヤ期」に入っている子ども達があります。「イヤイヤ期」というのは、一般的に1歳半くらいから3歳頃の子どもに起こることが多く、「第一次反抗期」とも言われています。子



どもは1歳半頃になると自分と他者の違いが分かるようになり、「自分でしたい」「こうしたい」などと自分の思いを通したいという気持ちが強くなります。一方で、自分の感情や意思を言葉で表現したり、感情をコントロールすることがまだ上手にできないため、自分でしようとして他者にとめられたり、自分の思うようにできなかったり、思ったとおりにならなかったりした時に、「イヤ!」と感情を爆発させます。これがイヤイヤ期が起こる理由になります。



「イヤイヤ期」は子どもの発達過程において大切な時期と言われています。しかし、子どものイヤイヤ期に対応するのは難しいですし、時間や労力もかかりお困りの方も多いのではないかと思います。そこで、私はイヤイヤ期の子ども達に対応する時に以下の3点に心がけて子ども達と接するようにしています。

①「イヤイヤ期をポジティブに考える」

まずは一呼吸して、「イヤ!と言えるまで成長した」「心が成長している証」だとできるだけポジティブに考えることで、気持ちに余裕をもって子どもに接しやすくなります。

②「子どもの気持ちを受けとめる」

「嫌だったんだね」と気持ちを受けとめて気持ちを代弁してあげることで、分かってもらえたかと安心して落ち着くことが多いように思います。

③「代案を考え、示す」

イヤ!という気持ちを一度受けとめたうえで、それができない理由と代案を伝え、子どもに選択してもらうようにしています。また、いざという時に的確な代案を提案することができるように、日頃から子ども達の好きな物、好きな遊びなどを把握しておくことも心がけています。



実際に私が経験した事例をご紹介します。水分補給のためにお茶の入ったコップを子どもにあげようとする、「イヤ!」と断固拒否して飲んでくれないお子さんがいました。そこで、「いかがですか〜ジュース屋さんですよ!」「何ジュースがいいですか〜?」と尋ねてみると、「〇〇ジュース!」という返事が。コップを渡すと、「おいしい!」と言ってゴクゴク飲んでしまい、うれしそうにコップを渡してくれました。

この場合子ども達は夢中で玩具で遊んでいましたので、水分補給の時間だから!と水分補給の大切さを伝えて飲むことを無理強いしても、子どもは飲んでくれません。大人の思いだけで子どもの「イヤ!」を頭ごなしに否定すれば、子どももそれに反発して断固拒否の姿勢になってしまうのです。子どもがなぜ「イヤ!」と言って嫌がるのかを考え、「今楽しいところだったんだね」などと子どもの気持ちを受けとめ、理解しようとするれば、子どもは「自分に寄り添ってもらえている」という気持ちになり、落ち着いてくれます。そしてこの事例のように、その子が好きな物や好きな遊びを関連づけて興味を引いたり、子どもが気持ちに折り合いをつけられるような代案を提案することで、「じゃあ、してみようかな」という気持ちに切り替わっていくことができます。

こうしたイヤイヤ期を経て、子ども達は自己主張する力や他者の気持ちや意見を受けとめる力、自分と他者の思いを調節する力、自分の感情や行動をコントロールする力、簡単なルールを理解する力などたくさん力を身に付けて、3歳以降の育ちにつながっていくのです。

私が保育の仕事に携わってもうすぐ6年が過ぎようとしています。今まで様々な年齢のクラスの子ども達を担当してきましたが、今年初めて1歳児クラスの担任になり、日々色々な成長を見せてくれる子ども達から学ぶことがたくさんあります。

その中で、イヤイヤ期で気持ちが不安定になっている子ども達が安心して園生活を送ることができるように、自分にできることを常に考えて保育しています。子ども達の安全と笑顔を大切にしながら、子育てと仕事の両立に奮闘する保護者の皆さんに寄り添い、少しでも力になることができるように、これからも保育士として頑張っていきたいです。



皆様も子育てに、そしてまさに「イヤイヤ期」に奮闘中の方もいらっしゃると思いますが、自分が小さい時もこうだったのかな…と少し客観的に、そして時期的なもの…とゆとりを持って頂き、この文章を参考にさせて頂けると幸いです。今は大変な時期かもしれませんが、子育てをすることで親子で成長でき、振り返った時に笑って話せると素敵だなと思います。肩の力を抜いて、子育てを楽しんで下さいね!